



試験成績書

依頼者 住 所 新潟県見附市今町 6-28-31

会社名又は団体名 上野住宅建材株式会社

依頼試験の名称 木製玄関ドアの断熱性試験

平成 27 年 12 月 1 日付契約した依頼試験について、一般財団法人ベターリビング
つくば建築試験研究センターにおいて試験を実施した結果は、本試験成績書に記載
のとおりである。

平成 28 年 2 月 3 日

東京都千代田区富士見 2 丁目 7 番 2 号
ステージビルディング
一般財団法人 ベターリビング
理事長 井上 俊之



試験体	商品名	スニッカルペール社 木製玄関ドア YD251			
	品目名	木製玄関ドア(片開き、両面木単板+ポリイソシアヌレート断熱材+ウッドファイバー断熱材、木製枠)			
	試験体寸法 (mm)	枠外法：SW 990 × SH 2080	試験体姿勢	垂 直	
		枠内法：W 915 × H 2030	熱流方向	水 平	
試験方法		JIS A 4710:2015 「建具の断熱性試験方法」による。			
断熱性能試験測定結果					
試験年月日			平成27年12月8日		
測定回			第1回	第2回	第3回
加熱箱内発生熱量 Φ_{in} (W)			45.7	45.7	45.7
取付けパネル通過熱量+端部通過熱量 $\Phi_{sur}+\Phi_{edge}$ (W)			9.1	9.2	9.2
熱箱流出熱量 Φ_l (W)			0.9	0.9	1.0
試験体熱流通過面積 A_{ap} (㎡)			2.059 (0.990 × 2.080)		
試験体通過熱量密度 $q_{ap}=(\Phi_{in}-\Phi_{sur}-\Phi_{edge}-\Phi_l)/A_{ap}$ (W/㎡)			17.3	17.3	17.3
空気温度	高温側 θ_{ci} (℃)		20.2	20.2	20.2
	低温側 θ_{ce} (℃)		0.1	0.0	0.0
空気温度差 $\Delta\theta_c=\theta_{ci}-\theta_{ce}$ (℃)			20.1	20.2	20.2
試験体平均空気温度 $\theta_{c,ave}=(\theta_{ci}+\theta_{ce})/2$ (℃)			10.1	10.1	10.1
環境温度	高温側 θ_{ni} (℃)		20.2	20.2	20.2
	低温側 θ_{ne} (℃)		0.1	0.0	0.0
環境温度差 $\Delta\theta_e=\theta_{ni}-\theta_{ne}$ (℃)			20.1	20.2	20.2
試験体平均環境温度 $\theta_{n,ave}=(\theta_{ni}+\theta_{ne})/2$ (℃)			10.0	10.1	10.1
測定熱貫流率 $U_m=q_{ap}/(\theta_{ni}-\theta_{ne})$ (W/(㎡・K))			0.86	0.86	0.85
測定熱貫流抵抗値 $R_m=1/U_m$ (㎡・K/W)			1.160	1.167	1.170
標準化熱貫流率 $U_{st}=[U_m^{-1}-R_{(s,t),st}+R_{(s,t),st}]$ (W/(㎡・K))			0.86	0.85	0.85
標準化熱貫流抵抗値 $R_{st}=1/U_{st}$ (㎡・K/W)			1.164	1.171	1.174
標準化熱貫流率 (3回の測定結果の平均) (W/(㎡・K))			0.85		
標準化熱貫流抵抗値 (3回の測定結果の平均) (㎡・K/W)			1.170		
【備考】					
標準の合計表面熱伝達抵抗 $R_{(s,t),st}$ は、0.17(㎡・K/W)とする。					
熱貫流率・熱貫流抵抗は有効数字3桁で示した。温度・熱量は小数以下二桁目を四捨五入して表示。					

防 露 性 能 試 験 結 果

・各部の表面温度 θ_{sx} (°C) 測定結果 (断熱性能試験と同時に測定した3回の平均値を示す)

No.	室内側	室外側	No.	室内側	室外側	No.	室内側
1	14.4 (0.71)	7.8 (0.39)	7	17.5 (0.87)	1.4 (0.06)	13	16.9 (0.83)
②	14.3 (0.70)	8.0 (0.39)	8	17.6 (0.87)	1.2 (0.06)	14	17.3 (0.86)
3	14.8 (0.73)	7.9 (0.39)	9	17.1 (0.84)	1.1 (0.05)	15	17.2 (0.85)
4	15.6 (0.77)	1.7 (0.08)	10	15.1 (0.75)	1.0 (0.05)	16	17.3 (0.86)
5	15.2 (0.75)	2.2 (0.10)	11	18.9 (0.93)	0.5 (0.02)	17	17.4 (0.86)
6	16.7 (0.82)	1.6 (0.07)	12	16.8 (0.83)	— (—)	18	14.8 (0.73)

(単位:°C)

・ () 内は、温度低下率 P_x を示す。

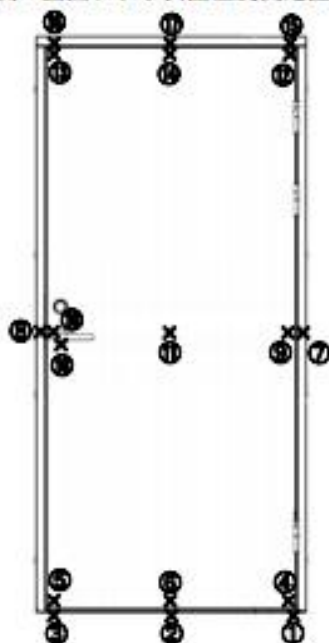
$$P_x = (\theta_{ci} - \theta_{sx}) / (\theta_{ci} - \theta_{ce})$$

θ_{ci} : 室内側空気温度 (°C)、 θ_{ce} : 室外側空気温度 (°C)

・ サッシ表面に結露を生じ始める室内空気 (20°C) の推定相対湿度 [69] %

上記相対推定湿度は、結露によって実害をおよぼす可能性のある部位の最低温度 (測定部位番号に○の箇所) を湿り空気線図上にプロットし求めた。

[試験体室内側立面図および表面温度測定位置]



(注)

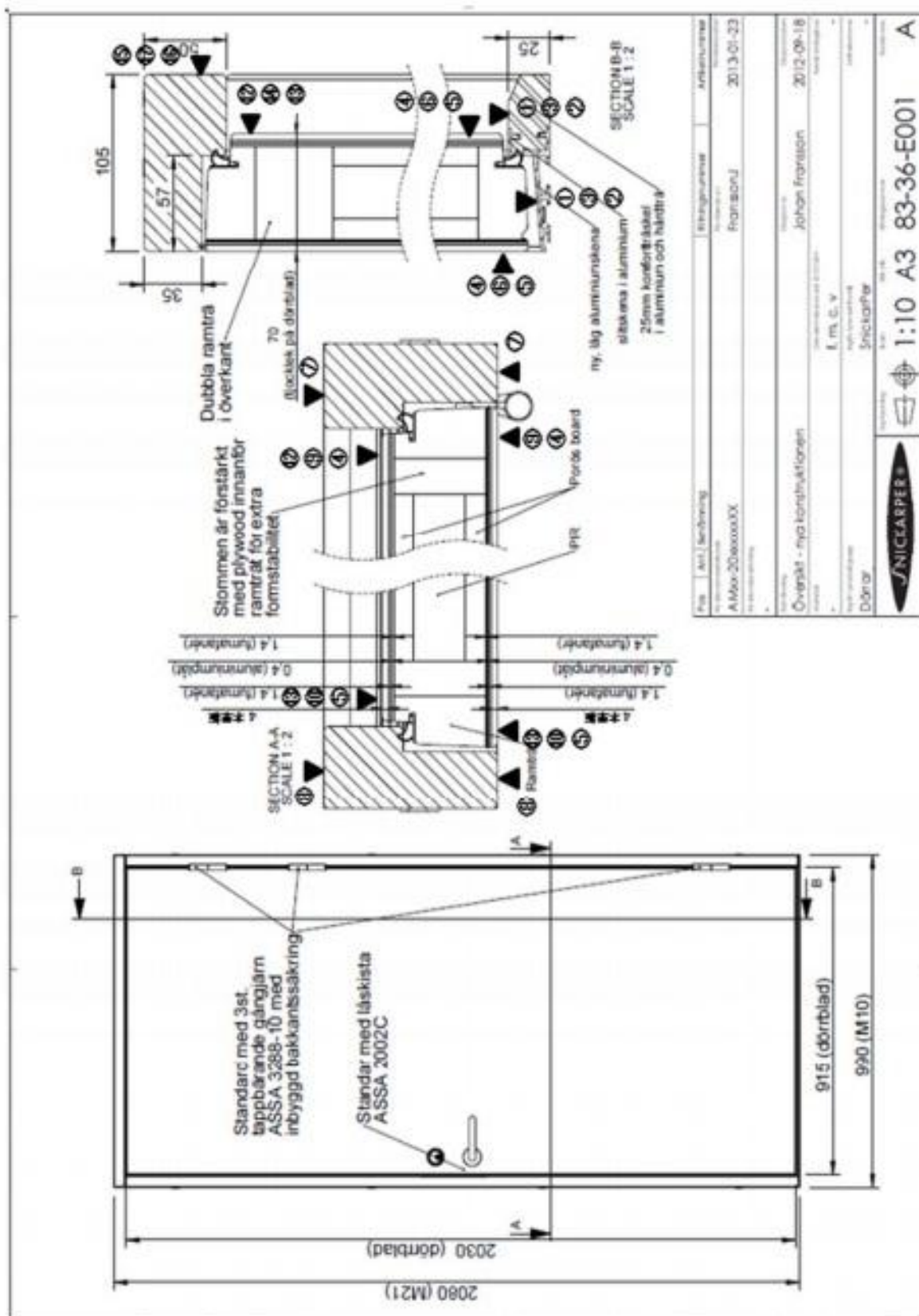
・ ①～⑮は表面温度測定位置番号を示す。

室内側: ①～⑮

室外側: ①～⑪

・ 試験体および温度測定位置の詳細を別図に示す。

試 験 担 当 者	統括技術管理者 所 長 藤 本 効	試 験 実 施 場 所	〒305-0802 茨城県つくば市立原2番地 一般財団法人 ベターリビング つくば建築試験研究センター TEL 029(864)1745 Fax 029(877)0050
	環境・住宅部品性能試験研究部 技 術 管 理 者 部 長 佐久間博文 試 験 責 任 者 上席試験研究役 咸 哲 俊 試 験 実 施 者 上席試験研究役 咸 哲 俊		



別図 試験体図（依頼者提出資料）